

平成 2 8 年三重県議会定例会 健康福祉病院常任委員会

説 明 資 料

	頁
【 議 案 補 充 説 明 】	
1 議案第 5 3 号 三重県病院事業条例の一部を改正する条例案	1
【 所 管 事 項 説 明 】	
1 「三重県病院事業 平成 2 8 年度 年度計画（案）」について	2
2 指定管理者による志摩病院の運営について	11
3 平成 2 6 年度 包括外部監査結果に対する対応結果について	15

(別冊資料)

三重県病院事業 平成 2 8 年度 年度計画（案）

平成 2 8 年 3 月 1 0 日
病 院 事 業 庁

1 議案第53号 三重県病院事業条例の一部を改正する条例案

三重県立こころの医療センターの地域生活支援機能の拡充に伴い、精神科病床数を400床から348床に減少させるものです。

(1) 改正内容

国の精神科医療の方向性である「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という考え方を踏まえた病院機能の再編を進めていく中で、外来患者を対象とするデイケアサービスを拡充させるために、平成25年1月から休棟している東2病棟（52床）を地域生活支援施設として改修することに伴うものです。

(2) 施行期日

平成28年4月1日から施行します。

1 「三重県病院事業 平成28年度 年度計画（案）」について

県立病院を取り巻く状況として、現在、地域医療構想の策定が進められており、また、総務省から示された「新公立病院改革ガイドライン」においては、地域医療構想を踏まえた県立病院が果たすべき役割を明確にした新たな公立病院改革プランの策定が求められています。さらに、三重県立一志病院については、平成27年9月に「三重県立一志病院のあり方に関する検討会」が設置され、計4回の検討会を経て、「三重県立一志病院のあり方について～三重県立一志病院のあり方に関する検討会を踏まえて～」が策定されたところです。

こうした状況にあるため、新たな中期経営計画は、平成28年度中に策定することとし、平成28年度は、現計画を踏まえた年度計画を作成したうえで、病院運営を行っていきます。

1 各病院等の計画

こころの医療センター（別冊資料 P2～5）

平成28年度の目標と取組方向

平成28年度は、精神科医療における「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という流れの中で、こころの医療センターが、これまで推進してきた病院機能の再編について、アウトリーチサービスとしての訪問看護や、デイケア、作業療法といった日中活動支援などによる地域生活支援をより一層充実させるべく取組を進めます。

また、精神科救急・急性期医療などの政策的医療及び精神疾患に悩む若者に対する早期介入・早期支援やアルコール依存症治療、認知症治療などの高度先進医療にも積極的に取り組みます。

平成28年度的主要な取組と目標

（1）重点的な取組

◇ 病院機能の再編・推進

外来患者を対象とした訪問看護については、多職種又は複数の看護師による対応を充実することにより、アウトリーチサービスの機能強化を図るとともに、デイケア、作業療法などの日中活動支援については、より一層の充実を図るため、デイケアプログラムの見直しや、効率的・効果的なデイケアを実施するための施設改修に取り組みます。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
訪問看護件数（件）	5, 350	4, 850	5, 000

【所管事項説明】

(2) 役割及び機能の充実に向けた取組

1) 精神科医療の中核病院としての取組

○ 精神科救急・急性期医療の推進

三重県精神科救急医療システムの支援病院として、休日・時間外などの救急患者の受入れに対応するとともに、自傷・他害のおそれがある場合に実施する措置鑑定診察の要請に対しては、100%の受入れを行います。

また、救急・急性期医療の充実を図り、平均在院日数の短縮や寛解率の向上をめざします。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
精神科救急患者数（人）	230	230	230

2) 高度・先進医療の取組

○ 精神科早期介入・予防

教育機関等と緊密に連携し、精神科における「早期発見・早期支援・早期治療」の拠点として設置している「ユース・メンタルサポートセンターMIE (YMSC-MIE)」の運営により、多職種が連携して精神疾患の症状に悩む若者の支援を進めます。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
早期介入対応件数（件）	200	200	200

○ アルコール依存症治療

アルコール依存症に関する専門的な研修を履修したスタッフによる、充実した治療プログラムを提供するとともに、外来患者を対象とするアルコール専門のデイケアを実施します。

また、一般病院で治療を受けているアルコール依存症患者が、当該病院から紹介を受け、当院の専門的な依存症治療を受けられるよう、一般病院との連携に取り組みます。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
アルコール病棟入院患者数（人／日）	37.0	27.0	37.0

○ 認知症治療

認知症に対する専門的医療を提供するとともに、家族等からの相談や普及啓発を行う「認知症疾患医療センター」として、関係機関等との連携を図りながら、本県における認知症治療や相談事業の拠点としての役割を担います。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
認知症治療病棟入院患者数（人／日）	40.0	39.0	40.0

(3) 経営の健全化及び業務改善に向けた取組

1) 経営の健全化に向けた取組

○ 病院機能の再編・推進を踏まえた健全経営

精神保健医療福祉政策や平成28年度の診療報酬改定に対応しながら、地域生活支援の充実を図る取組を推進していく中で、健全経営が確保できるよう努めていきます。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
経常収支比率 (%)	103.8	100.0	101.0

2) 業務改善に向けた取組

○ 患者満足度の向上

平成27年度病院事業庁患者様アンケートの結果や声の箱制度における患者の皆さんの意見等を病院運営に生かしていくとともに、的確かつ丁寧に相談や苦情に対応することなどにより、患者満足度の向上をめざします。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
患者満足度 (%)	85.0	74.9	89.7

※H27年度までは、「当院を親しい友人等へ紹介しますか」という設問に対する肯定的な回答割合により算出していましたが、H28年度からは、「当院の診療に満足していますか」との設問に対する肯定的な回答割合により算出します。

一志病院 (別冊資料 P6～9)

平成28年度の目標と取組方向

平成28年度は、これまで一志病院が推進してきた「地域に最適な包括的で全人的な医療体制づくり」に必要な多職種連携の取組を定着させるとともに、取組への住民参画を推進します。

また、家庭医を中心とした家庭医療を地域の皆さんに提供するとともに、家庭医療に携わる医師、看護師等の人材育成を進めます。

平成28年度の主な取組と目標

(1) 重点的な取組

◇ 地域に最適な包括的で全人的な医療の体制づくり

医師、看護師などの医療関係者やケアマネージャー、社会福祉協議会職員などの福祉関係者、保健師、市職員などの保健関係者など多数の参加を得た多職種連携の取組を定着させるとともに、取組への地域住民の皆さんの参画を推進します。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
地域に最適な医療の体制づくり 参加機関数 (者)	15	15	16

【所管事項説明】

（２）役割及び機能の充実に向けた取組

１）家庭医を中心とした地域医療の取組

○ 家庭医療

三重大大学の協力も得ながら家庭医の診療体制を充実することにより、病気の治療だけでなく、予防医療やリハビリテーション、健康相談などを含む全人的な医療サービスを安定的に提供します。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
家庭医療等外来患者数（人／日） （予防医療受診者等を含む。）	1 1 3 . 0	1 0 6 . 0	1 1 3 . 0

○ 在宅療養支援

多職種連携の取組で築いた顔の見える関係を生かし、地域の診療所や介護施設、保健師やケアマネージャー等と連携し、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅療養支援に取り組めます。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等延べ患者数（人）	3, 2 7 0	3, 5 3 5	3, 4 0 0

２）地域医療を担う人材の教育

○ 家庭医の育成

家庭医（総合診療医）育成拠点施設として、初期研修医や医学生を積極的に受入れ、家庭医の教育に全国に先駆けて取り組んできた三重大大学と連携し、一志病院をフィールドにした実践的な研修を行います。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
初期研修医・医学生受入人数（人）	4 9	5 6	4 9

（３）経営の健全化及び業務改善に向けた取組

１）経営の健全化に向けた取組

○ 収支改善

医療サービスの充実等により、入院・外来患者や健康診断等受診者の確保と収益の増加につなげていくとともに、材料費や経費等の費用の削減を図りながら、健全経営が確保できるよう努めていきます。

また、平成２８年度に実施される診療報酬改定等の動向を見定め、医療サービスが収益にも確実に反映できるよう対応します。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
経常収支比率（％）	1 0 0 . 0	1 0 0 . 7	1 0 3 . 5

【所管事項説明】

2) 業務改善に向けた取組

○ 患者満足度の向上

院内接遇研修の開催や、接遇に関する月間目標の徹底、定期的な接遇チェック等により職員一人ひとりの接遇能力の向上を図ります。

また、患者や地域住民の皆さん、職員から寄せられた提案等を実現できるよう、ワーキンググループ活動等を通じた業務改善に取り組めます。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
患者満足度 (%)	85.0	83.7	96.6

※H27年度までは、「当院を親しい友人等へ紹介しますか」という設問に対する肯定的な回答割合により算出していましたが、H28年度からは、「当院の診療に満足していますか」との設問に対する肯定的な回答割合により算出します。

県立病院課 (別冊資料 P10～12)

平成28年度の目標と取組方向

平成28年度は、引き続き、県直営の2病院と緊密に連携し、医師・看護師等医療従事者の確保に努めるとともに、医療情報の収集及び2病院への提供を積極的に行いながら、病院毎の課題等に対して共に取り組んでいくなど、各病院の経営改善等に向けて積極的に対応していきます。

指定管理者制度を導入した志摩病院については、志摩地域の中核病院として、診療体制の回復がさらに図られるよう、指定管理者と一層の連携を図りつつ、適切に指導・監督を行っていきます。

平成28年度の主な取組と目標

(1) 重点的な取組

◇ 医師、看護師の確保

研修環境の充実や働きやすい職場づくりなど、引き続き、勤務医にとって魅力のある病院をめざした取組を行い、医師の確保を図ります。

また、看護師の安定的な確保のため、大学や専門学校等養成機関への積極的なPRに努めるとともに、新人看護師への技術支援、専門的な資格取得や自己実現等への支援、職場環境の改善などに取り組めます。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
常勤医師充足率 (%)	100.0	85.3	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	99.6	100.0

【所管事項説明】

(2) 役割及び機能の充実に向けた取組

○ 職員の専門性の向上

各種研修への参加や資格取得の支援を通じて、医療従事者が専門的な知識や技術を継続的に習得・向上し、良質な医療を提供していけるよう、積極的に支援します。

また、事務職員についても、経理、企画、医事、労務管理等、経営の健全化や安定化を図るための能力向上に資する研修等への積極的な参加を促進します。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
能力向上にかかわる研修参加回数(回)	30	35	30

(3) 経営の健全化及び業務改善に向けた取組

○ 病院の経営面の改善・支援

病院事業庁長と各県立病院長(志摩病院を除く)等で構成する病院事業庁経営会議をはじめとした病院事業庁内の様々な会議等により、各病院の経営状況及び経営改善の取組等に係る情報共有や意見交換を積極的に行うなど、病院との連携を緊密にしながら経営面の改善・支援を進めます。

また、未収金については、病院内各部門の連携強化や患者の皆さんへの医療費に係る各種の支援制度の周知等による発生防止と、法的措置も含めた早期回収の両面から、継続的に対策を講じます。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
経常収支比率(%)	102.9	100.2	101.5

※こころの医療センター、一志病院及び県立病院課を合わせた数値

○ 志摩病院指定管理者の指導・監督

志摩病院の運営に関する事項を協議するため、病院事業庁と指定管理者の代表者等で構成する「志摩病院管理運営協議会」において、取組方針等の確認や課題調整等を行うとともに、指定管理者から毎月提出される業務報告の聴き取り等を通じて運営状況を常に把握したうえで、必要に応じて医師会など地域の関係機関との調整も行いながら、診療体制のさらなる回復が着実に図られるよう、適切な連携及び指導・監督を行っていきます。

目標項目	H27 目標	H27 見込	H28 目標
1日平均入院患者数(人/日)	229.5	203.1	245.0
1日平均外来患者数(人/日)	315.8	319.3	330.3

2 今後のスケジュール等

本常任委員会でいただいたご意見等を踏まえて内容の精査を図ったうえで、平成28年3月下旬に開催する「病院事業庁経営会議」において各病院長と十分に協議し、「平成28年度年度計画」を確定する予定です。

「三重県病院事業 中期経営計画（平成 25 年度～平成 27 年度）」の目標値及び実績値

(こころの医療センター)

取組項目	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績見込値	目標値
訪問看護件数（件）	3,750 3,751	4,550 4,537	5,350 4,850	5,000
精神科救急患者数（人）	210 221	220 212	230 230	230
看護実習等受入人数（人）	2,350 2,067	2,200 2,074	2,350 2,150	2,200
人材育成研修開催数（回）	1 1	1 1	2 2	2
長期入院患者（5 年超） 退院数（件）	10 7	8 4	6 6	4
地域精神保健医療体制検討会 開催数（回）	1 0	1 設置	1 1	2
こころしっとこセミナー 件数（件）	21 18	23 25	25 27	28
早期介入対応件数（件）	165 206	195 213	200 200	200
アルコール病棟入院患者数 （人／日）	32.0 35.6	38.0 32.2	37.0 27.0	37.0
認知症治療病棟入院患者数 （人／日）	43.0 36.7	44.0 38.8	40.0 39.0	40.0
重度療養患者医療体制構築 （治療件数）	検討 検討	検討 構築	実施 (4)	(4)
経常収支比率（％）	100.7 100.1	105.8 102.0	103.8 100.0	101.0
外来患者数（人／日）	262.0 253.0	270.0 260.1	280.0 260.0	280.0
延べ入院患者数（人）	115,340 107,910	115,340 102,748	109,800 102,480	109,500
医療倫理委員会開催数（回）	1 9	9 1	2 2	2
医療安全研修参加率（％）	81.5 82.4	83.0 90.6	85.0 91.3	90.0
患者満足度（％）	82.0 71.3	83.5 75.8	85.0 74.9	89.7

【所管事項説明】

(一志病院)

取組項目	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績見込値	目標値
地域に最適な医療の体制づくり参加機関数（者）	11 11	13 14	15 15	16
家庭医療等外来患者数（人）	105.0 105.4	109.0 104.7	113.0 106.0	113.0
住民健診・がん検診受検者数（人）	1,250 1,196	1,180 1,300	1,250 1,400	1,300
訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等延べ患者数（人）	3,210 3,219	3,240 3,424	3,270 3,535	3,400
救急患者受入件数（件）	966 1,065	1,000 1,182	1,000 1,180	1,000
へき地診療所への代診医派遣回数（件）	 	 2	 2	5
初期研修医・医学生受入人数（人）	43 48	49 44	49 56	49
看護実習等受入率（%）	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0
学会、研修、カンファレンス等の参加率（%）	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0
学会発表・論文発表件数（件）	5 20	14 28	20 30	20
経常収支比率（%）	97.6 102.8	100.0 102.5	100.0 100.7	103.5
診療報酬検討会開催回数（回）	12 12	12 12	12 12	12
材料費、経費対医業収益比率（%）	54.2 48.2	50.4 46.8	48.5 49.5	46.5
システム導入の検討	検討 検討	システム導入 システム導入	 	 
休止中の施設の活用方法の検討	検討 未着手	検討開始 検討開始	課題整理 検討中	 
夢プロジェクトの開催件数（回）	 	 	 12	12
患者満足度（%）	83.0 81.2	84.0 75.0	85.0 83.7	96.6

【所管事項説明】

(県立病院課)

取組項目	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
	目標値	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績見込値	
常勤医師充足率 (%)	80.0	90.0	100.0	100.0
	84.8	78.2	85.3	
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0
	104.8	100.0	99.6	
情報提供数 (件／月)	2.0	2.0	2.0	2.0
	1.1	2.3	2.0	
能力向上にかかる研修参加回数 (回)	24	27	30	30
	26	28	35	
経常収支比率 (%)	100.1	104.4	102.9	101.5
	※志摩病院を除く数値	100.7	102.1	100.2
1 日平均入院患者数 (人／日)	218.5	220.0	229.5	245.0
	※志摩病院の数値	206.0	205.7	203.1
1 日平均外来患者数 (人／日)	272.6	312.4	315.8	330.3
	※志摩病院の数値	301.9	307.9	319.3

2 指定管理者による志摩病院の運営について

平成24年4月に指定管理者制度を導入した志摩病院については、指定管理者（公益社団法人 地域医療振興協会）において、診療体制の段階的な回復を図りながら運営を行っているところです。

平成28年度についても、志摩地域の中核病院としての役割・機能を担っていけるよう、病院運営を進めていきます。

1 診療科別の常勤医師の配置等

常勤医師の配置については、内科及び救急・総合診療科の医師が充実するなど、段階的な診療体制の回復が図られています。

平成28年度においても、引き続き常勤医師の配置の充実に努め、診療機能の一層の向上が図れるよう取り組んでいきます。

	県直営	指定管理					(単位：人)
診療科等	H24.3	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.1	
内科及び救急・総合診療科	5	7	11	17	11	13	
外科	3	4	3	3	3	3	
整形外科	3	2	2	2	2	2	
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	
眼科	1	1	1	1	1	1	
産婦人科	0	0	0	0	0	0	
小児科	0	0	1	1	1	1	
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	
精神科	3	3	3	3	2	2	
放射線科	1	1	1	1	1	1	
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	
初期研修医	1	2	2	2	3	3	
計	21	24	26	32	26	28	

2 入院診療

入院診療については、平成24年7月からの病棟1棟の再開に引き続き、平成27年11月から病棟1棟を再開させ、全病棟を稼働させています。また、一般病棟の稼働病床数についても、平成24年7月に117床から132床に、平成26年6月に132床から147床に、平成27年11月に147床から177床に順次増床を図ってきているところです。

平成28年度においては、平成27年11月の病棟再開により平成28年2月から本格運用を開始した地域包括ケア病棟に、他の急性期病院からの紹介患者や在宅患者の急変時の受入れなど行い、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーション等を提供するなど、地域の多様な医療ニーズに対応していきます。

3 外来診療

外来診療については、これまで内科・小児科等の診療枠の拡大や消化器外来の新設など、診療機能の充実を図ってきているところです。

平成28年度においても、引き続き、診療機能の維持・充実に努めていきます。

4 患者数及び医業収益

患者数の状況については、一般診療科の1日平均外来患者数が着実に増加しているものの、平成27年度（平成28年1月までの実績）の一般診療科の1日平均入院患者数は、平成27年11月の病棟再開の準備（改修工事等）に伴う入院調整を行ったことなどにより、前年度と比較して減少している状況です。また、これに伴って医業収益についても、現状では前年度を下回っています。

平成28年度においても、診療体制のさらなる充実等により患者数の一層の確保につなげ、経常収支の改善を図っていきます。

			H24実績	H25実績	H26実績	H27		H28計画
						計画	4～1実績	
1日平均患者数 (人/日)	入院	一般	113.5	114.6	116.3	136.5	114.1	155.0
		精神	93.4	91.3	89.4	93.0	89.0	90.0
	外来	一般	247.1	264.8	270.3	278.5	282.0	293.8
		精神	36.7	37.2	37.6	37.3	37.3	36.5
診療単価(円)	入院	一般	35,810	38,130	39,786	41,140	40,189	38,939
		精神	13,490	13,485	13,736	13,800	13,670	13,698
	外来	一般	12,110	12,061	11,956	12,199	11,991	12,037
		精神	6,701	7,086	6,677	6,700	6,607	6,569
医業収益 (千円/月)	入院(月平均)		161,968	170,402	178,068	210,415	177,533	221,081
	外来(月平均)		66,112	70,291	70,813	73,863	72,930	76,468

なお、指定管理者に交付する経営基盤強化交付金（赤字補填）の平成28年度当初予算額は、9,948万8千円を見込んでおり、平成27年度当初予算額と比較して1億8万8千円の減額となっています。

5 救急診療

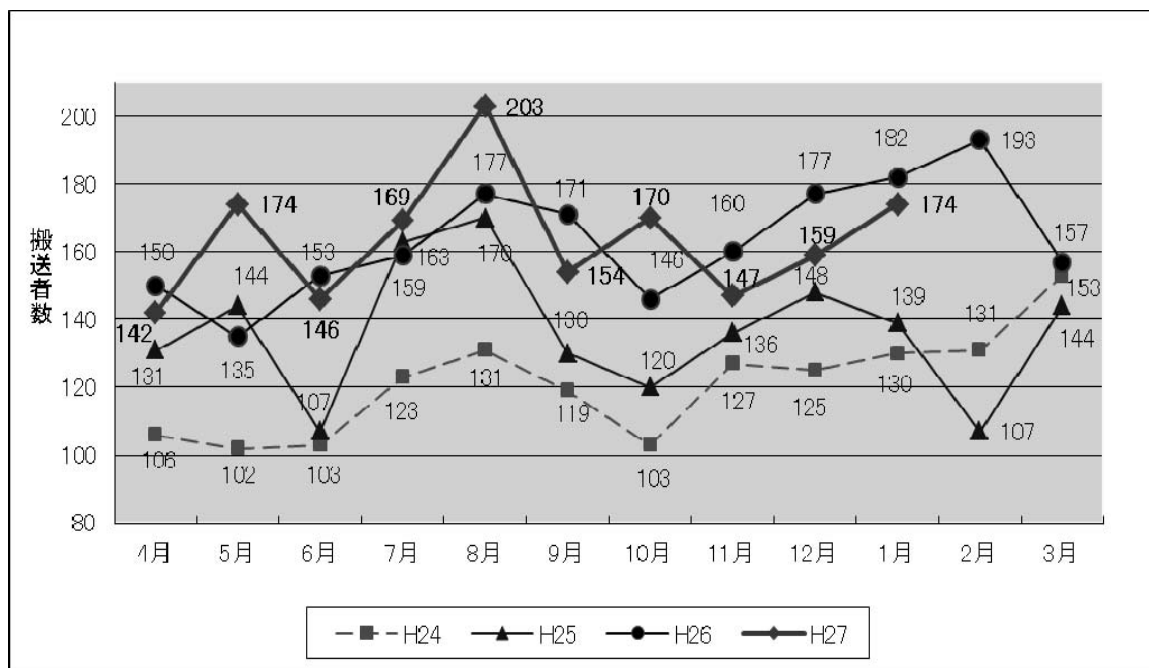
内科系の救急受入態勢について、平成24年度からの拡充（平日は準夜間（17時15分～22時30分）まで受入れを拡充）に引き続き、平成26年6月からは、土曜日・日曜日・祝日の準夜間も毎週受入れに拡充を図り、さらに、平成27年度においては、9月から毎週2日（金、土曜日）の24時間受入れを実施するとともに

【所管事項説明】

に、平成28年2月からは早朝7時（従来は8時30分から）からの受入れに拡充を図りました。これにより、志摩病院への救急搬送者数（志摩広域消防組合による搬送）は、年々増加してきている状況です。

平成28年度においては、院内の体制を整えたうえで、24時間365日の救急患者の受入れをめざします。

【志摩広域消防組合からの搬送者数】



	H24	H25	H26	H27
4月～1月救急搬送者数	1,169	1,388	1,610	1,638
前年度比	125.0%	118.7%	116.0%	101.7%
(参考)年間の救急搬送者受入数	1,453	1,639	1,960	-

なお、現在の救急患者の受入態勢は、下表のとおりです。

（△は隔週で対応）

	区 分	月	火	水	木	金	土	日・祝
内科系	早 朝（7:00～8:30）	○	○	○	○	○	○	○
	昼 間（8:30～17:00）	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間（17:00～22:30）	○	○	○	○	○	○	○
	深 夜（22:30～7:00）					○	○	
外科系	昼 間（8:30～17:00）	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間（17:00～22:30）	○			○	○	△	
	深 夜（22:30～8:30）					△	△	

※太字部分は、本年度に充実した時間帯です。

6 適正な病院運営のための取組

(1) 管理運営協議会

病院運営に関する具体的な事項を協議するため、病院事業庁と指定管理者の代表者等で構成する「志摩病院管理運営協議会」を、平成27年度は7月と10月に開催し、取組実績を聴取するとともに、今後の取組等について協議を行いました。

平成28年度においても2回程度開催し、情報共有及び適切な連携を図っていきます。

(2) 毎月の業務報告等

指定管理者から毎月提出される「業務報告書」の聴き取りを中心に、運営状況の詳細を把握し、随時、具体的な事項についての協議・調整を行いました。

平成28年度も引き続き実施し、具体的な取組の進捗状況等について、的確に把握しながら一層の連携を図っていきます。

(3) 地域の皆さんとの懇談会

地域の皆さんの意見等を今後の管理業務に反映させるため、病院事業庁主催による「地域の皆さんとの懇談会」を平成28年1月に開催（参加者75名）し、指定管理者から運営状況の説明を行うとともに、地域の皆さんの意見を伺いました。

平成28年度も引き続き開催し、情報提供を行うとともに地域の皆さんの意見等については、今後の病院運営に活かしていきます。

3 平成26年度 包括外部監査結果に対する対応結果について

平成26年度に実施された包括外部監査の結果に対する病院事業庁の対応結果については、次のとおりです。

1 監査の実施テーマ

外部委託に関する事務の執行について

2 病院事業庁の監査対象委託業務

県立病院課が契約の締結を行った、国による地方公営企業会計制度の変更に伴う、既存の財務会計システムのプログラム改修及び同システムの運用保守のための委託業務です。

業務名：財務会計システム等の改修及び運用保守

契約額：14,007 千円（税込）

契約期間：平成25～29年度

3 指摘内容及び対応結果

当該委託業務の執行について、監査人から次のとおり指摘を受けたことから、「対応結果」のとおり改善を図りました。

指摘内容： 予定価格の設定にかかる積算について	対応結果
プログラムの改修部分の積算では、<u>システムエンジニアとプログラマーで同じ単価が用いられている。</u> 地方公営企業会計制度を理解したシステムエンジニア自身がプログラム業務を行う必要があるため、単価を同じにしているとのことであるが、そういった場合は、<u>システムエンジニアのみが業務を行うことが分かるように積算を記載すべきであった。</u> また、本業務委託の予定価格は委託先からの参考見積書に基づき設定されているが、県のシステム担当部署による予算要求前審査によるだけでなく、<u>市場価格に照らして単価が妥当な水準であるのか、可能な限り検証することが必要である。</u> なお、本業務委託の予定価格として設定されたシステムエンジニアの単価は実勢価格とかい離したものではなかった。	平成27年度に契約を行ったシステム関連の同種の委託契約に係る予定価格の設定にあたっては、<u>その積算において、業務内容と業務実施に必要な技術者が一致するように記載を行いました。</u> 人件費単価については、県のシステム担当部署が用いる単価との比較や、<u>市場価格の実態を調査した書籍を活用した単価の確認などにより、その妥当性について十分に検証を行いました。</u> なお、今回の指摘は県立病院課に係るものでありましたが、病院事業庁全体での取扱いとするため、各県立病院における予定価格の設定にあっても、同様の対応を行うよう、周知徹底を図りました。